



CANON MJ TODAY

キヤノンマーケティングジャパングループ会社案内

2023/2024





M. Adachi

キヤノンマーケティングジャパン株式会社
代表取締役社長 足立 正親

**「期待される 愛される 魅力のある会社」を目指し、
変革を加速させ、サステナビリティ経営を推進していきます。**

私たちはキヤノングループの一員として、日本国内を中心にマーケティング活動とソリューション提供を行っています。キヤノングループの企業理念「共生」のもと、サステナビリティ経営を推進し、人・社会・自然との調和を図りながら、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。

2025年を最終年度とする5か年計画「2021-2025 長期経営構想」では、2025年ビジョン「社会・お客さまの課題をICTと人の力で解決するプロフェッショナルな企業グループ」を掲げました。これは、キヤノン製品事業とITソリューション事業を組み合わせることで、お客さまと社会の課題解決に貢献していくという姿勢を示したものです。

長年培ったキヤノンのイメージング技術と時代に先んじる独自のIT、広範で強固な顧客基盤、そして人材力といった強みを生かし、デジタルドキュメントサービスや映像ソリューション、IT支援やセキュリティサービス、BPOサービスなど、高付加価値なソリューションを提供することで、お客さまのDXを支援しています。

これからもキヤノングループの企業DNAである「進取の気性」を胸に、人の力で新たな価値を追求し続け、お客さまや社会から「期待される 愛される 魅力のある会社」を目指していきます。

社会・お客さまの課題をICTと人の力で解決し、 持続可能な社会の実現に貢献していきます。

私たちキャノンマーケティングジャパングループは、キャノングループの企業理念「共生」のもと、くらし・しごと・社会のより良い未来の実現に向け、「顧客主語」を実践し、「2021-2025 長期経営構想」の2025年ビジョン「社会・お客さまの課題をICTと人の力で解決するプロフェッショナルな企業グループ」を目指しています。

キャノングループ企業理念

共生

世界の繁栄と人類の幸福のために貢献していく

キャノングループ企業DNA

進取の気性

前例にとらわれず、新しい価値を追求し続ける

キャノングループ行動指針の原点

三自の精神「自発・自治・自覚」

何事も自ら進んで積極的に行い(自発)、自分自身を管理し(自治)、自分が置かれている立場・役割・状況をよく認識する(自覚)姿勢で前向きに仕事に取り組む

キャノンマーケティングジャパングループ行動指針

顧客主語

常にお客さま起点で考え、お客さまの立場で行動する

キャノンマーケティングジャパングループ 2021-2025 長期経営構想 2025年ビジョン

社会・お客さまの課題をICTと人の力で解決する

プロフェッショナルな企業グループ



History

沿革の詳細は、Webサイトで
ご確認ください。



培ってきた強みを生かし、お客さまとともに進化しながら、時代の一步先を見据え歩み続けています。

カメラ・事務機器の販売会社として歩みを始め、システムインテグレーション領域へと事業を拡大。現在では、歩みの中で培ってきた「イメージングとITの技術力」、広範で強固な「顧客基盤」、そして「人材力」を生かしたソリューションを提供し、くらし・しごと・社会のより良い未来の実現に寄与しています。

1968-	1980-	1990-	2000-	2010-	2020-
<p>お客さまに近づくため製販を分離し、メーカー販社体制を確立</p> <p>キヤノン株式会社から販売部門を独立させ「キヤノン販売」(現:キヤノンMJ[*])を設立。国産初の普通紙複写機や一眼レフカメラの発売、メンテナンスまで含めた事務機の新たなビジネスモデルの導入など、今日のキヤノンMJの礎がつくられた。</p> <p><small>*キヤノンマーケティングジャパン(以下、キヤノンMJ)</small></p>	<p>先進的な製品と販売力の強化でオフィス改革をリード</p> <p>先進的な製品を提供し、OAのパーソナル化・カラー化をリード。また、全国規模の直販体制の整備やディーラーセールスとの関係性を深め、販売チャネルを強化。現在の強みとなる顧客基盤の確立にもつながっている。</p>	<p>システムインテグレーション事業を展開し、デジタル化・ネットワーク化の進化に伴走</p> <p>時代に先駆け「システムインテグレーター」企業への変革を打ち出した。キヤノン製品を核に、国内外の優れたハードウェア・ソフトウェアを組み合わせ、お客さまに最適なシステムを提案。お客さま重視の姿勢をさらに進化させた。</p>	<p>グループ連結経営を確立、ソリューションプロデューサーへと変革</p> <p>「キヤノンITソリューションズ」を設立し、ITソリューションを強化。社名もキヤノンマーケティングジャパンに変更し、卸売業から情報サービス企業への変革を加速した。</p>	<p>イメージング&ITで課題解決力を一層高める</p> <p>イメージング技術と独自のIT、顧客基盤を生かした「事業の多角化」「サービス事業会社化」を加速。プロフェッショナル領域への事業拡大や、ITソリューション・セキュリティなどの独自事業にも注力していった。</p>	<p>ICTと人の力で社会課題を解決するプロフェッショナルな企業グループへ</p> <p>培ってきた強みを生かし、キヤノン製品事業とITソリューション事業を組み合わせることで、解決できる領域を広げ、事業を通じた社会課題の解決に貢献していく。</p>
ITプロバイダー機能					
SI機能:(システムインテグレーション事業)					
商社機能(他社製PC・サーバーなどの販売)					
カメラ・事務機器販売					
<p>1968年 キヤノン事務機販売、キヤノン事務機サービスを設立</p> <p>1969年 キヤノンカメラ販売を設立</p> <p>1970年 国産初の普通紙複写機「NP-1100」を発売</p> <p>1971年 キヤノン事務機販売、キヤノン事務機サービス、キヤノンカメラ販売を統合し、キヤノン販売(現:キヤノンMJ)を設立</p> <p>キヤノン初のプロ用一眼レフカメラ「F-1」およびFDレンズ群を発売</p>	<p>1980年 キヤノンシステムアンドサポートの前身、コピー販売を設立</p> <p>1982年 世界初のカートリッジ方式複写機「ミニコピーPC-10/20」を発売</p> <p>1983年 東京証券取引所市場第一部に上場</p> <p>アップルコンピュータ社と販売提携</p> <p>1985年 日本アイ・ビー・エム社と販売提携</p> <p>1987年 世界初のフルカラーデジタル複写機「カラーレーザーコピー1」(愛称:PIXEL)を発売</p>	<p>1990年 通産省のシステムインテグレーター認定企業となる</p> <p>日本サン・マイクロシステムズ社と販売提携</p> <p>「カートリッジ回収リサイクルシステム」国内運用を開始</p>	<p>2003年 キヤノン販売が住友金属システムソリューションズを子会社化し、キヤノンシステムソリューションズに社名変更</p> <p>2006年 キヤノン販売がキヤノンマーケティングジャパンに社名変更</p> <p>2007年 キヤノンMJがアルゴ21を子会社化</p> <p>2008年 キヤノンシステムソリューションズとアルゴ21が合併し、キヤノンITソリューションズが発足</p> <p>2009年 ITとの連携を強化したオフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE」を発売</p>	<p>2012年 「西東京データセンター」がサービス開始</p> <p>2018年 製品・チャネルに基づいた組織体制から、市場・顧客に基づく体制へとフレームワークを変更</p>	<p>2020年 「西東京データセンター」2号棟を竣工</p> <p>2021年 キヤノンマーケティングジャパングループ 2021-2025 長期経営構想スタート</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■エンタープライズビジネスユニット(大手企業、準大手・中堅企業のお客さま) ■エリアビジネスユニット(中小企業のお客さま) ■プロフェッショナルビジネスユニット(専門領域のお客さま) ■コンシューマビジネスユニット(個人のお客さま) 					

キヤノン製品事業とITソリューション事業を組み合わせ、 より良い未来の実現に向け、価値を提供しています。

グローバルキヤノングループの一員として、日本国内でのマーケティング活動やソリューション提案を担っています。
歩みの中で培ってきた「イメージングとITの技術力」「顧客基盤」、そして「人材力」といった強みを生かし、
大手企業から中小企業、専門領域や個人のお客さまにまで、それぞれに最適なソリューションを提供しています。



お客さまの想いに応じて 最適なソリューションを 提供し、 真のパートナーとして 新たな価値を共創します。

私たちは、独自の強みを持つ製品と技術を磨き上げて、お客さまの業種・業態に合わせたソリューションを提供しています。

デジタルドキュメントサービス、映像ソリューション、ローコード開発、高度な数理技術を活用したソリューション、セキュリティ、ITO*1、BPO*2といった幅広い領域にわたるサービスにより、お客さまの課題解決をサポートし、ともに新たな価値を創出します。

*1 ITO (Information Technology Outsourcing) : システムの保守・運用やサーバー管理などITに関連する業務を外部の事業者へ委託すること

*2 BPO (Business Process Outsourcing) : 自社の業務を外部の事業者へ委託すること



For Business・For Professionalの詳細は、Webサイトでご確認ください。



デジタルドキュメントサービスの領域を拡大し 業務プロセスの変革とDXの推進を加速する

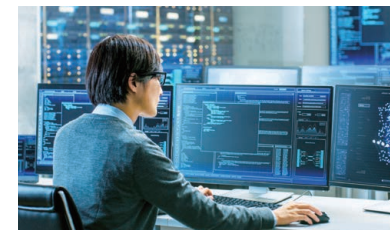
「DigitalWork Accelerator」シリーズは企業間取引関係書類を集約し、部門間の円滑な情報連携を実現するクラウドサービスです。オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE」はもちろん、他マルチデバイスとも連携可能。電子帳簿保存法、インボイス制度に対応するとともに、お客さまの業務プロセス変革とDX推進を支援します。また、バックオフィス業務も含めたさまざまなBPOサービスも提供。導入後の機器は遠隔モニタリングによるリモートサポートやカスタマーエンジニアによる迅速なトラブル対応などにより、お客さまの業務負荷軽減と快適な使用環境を実現します。



プログラムを自動生成する「ローコード開発」が アジャイル型のシステム開発を支援

DX推進のためには“攻めのDX”と“守りのDX”両方への対応が必要です。攻めのDXに必要なビジネス変化に迅速に対応するクラウド版のローコード開発*プラットフォーム「WebPerformer-NX」。守りのDXである基幹システムのモダナイゼーションを高速に行う「WebPerformer」。これらのアプローチを通じ、アジャイル型開発支援の価値提供を強化します。

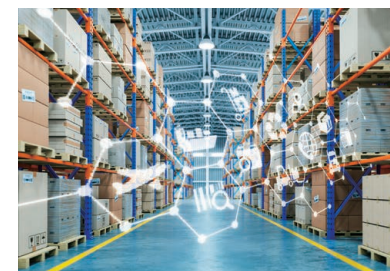
*ローコード開発: 可能な限りソースコードを書かずにアプリケーションやシステムの開発を行う手法



数理技術とAIを活用して業務を効率化し サプライチェーンの最適化を促進

物流業界では労働力不足や環境問題など社会課題への対応が急務です。私たちは数理技術*とAIを活用して在庫削減を支援する需要予測・需給計画ソリューション「FOREMAST」や、複数のシステムを相互連携するベスト・オブ・ブリード型の基幹業務トータルソリューション「AvantStage」を提供。サプライチェーンの最適化により、環境負荷の軽減や食品ロスの削減にも貢献します。

*数理技術(OR: Operations Research) : 数学的な視点・手法により解決を目指す科学的手法



イメージング技術からAIを用いた行動認識まで 先端技術による映像ソリューションでDXを推進

私たちは祖業であるカメラ事業で培ったイメージング技術とAI、多彩なデバイスや、集積したデータを管理・分析するソフトウェアを駆使して、幅広い業種・業態のお客さまのDX推進と業務プロセス変革を支援しています。

その核となるのは、キヤノンMJグループが展開するネットワークカメラ群や、ビデオ管理ソフトウェアであるマイルストーンシステムズ社*の「Milestone XProtect®」、映像解析ソフトウェアとの連携や、映像の一元管理と利活用を可能にするクラウドベースの映像プラットフォーム「VisualStage Pro powered by Arcules」など、さまざまな映像ソリューションの提供です。さらに、お客さまの多様な課題やニーズに柔軟に応えるべく、AIを用いた人間の行動認識に強みを持つアジラ社と新たなソリューションの共創などにも取り組んでいます。

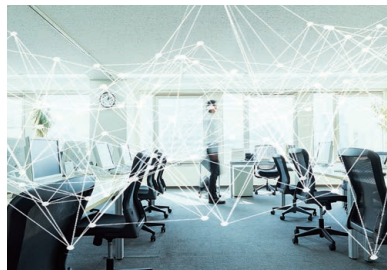
ものづくりの現場でも、労働力の確保や業務プロセスの見直しなど多くの課題を抱えています。その課題解決に貢献し製造業務の革新を実現するのが、MR (Mixed Reality) システム「MREAL (エムリアル)」です。仮想のデジタルデータと現実世界を融合することで、効率的な製品の設計・デザインや仮想構築した生産ラインにおける作業性の確認が可能です。ビジネスはもちろん、ものづくりや流通・サービス、医療の現場など、多岐にわたる領域へ映像ソリューションを展開し、社会全体の課題解決と企業の競争力強化に貢献します。

*キヤノングループ



中小企業のIT活用とDX推進をフルサポートし お客さまの競争力強化を実現

業務のデジタル化に取り組む上で課題が多い中小企業に対し、私たちはお客さまとつながり続け、DX推進をフルサポートしています。例えば、IT投資計画、最適なITの選定・導入から、IT機器の日常の運用支援、トラブル時の対応などの保守、人材育成までをトータルで支援する「まかせてIT DXシリーズ」を提供。さらに、お客さまが必要なものだけを選べるIT支援サービス「HOME」により、最新かつ最適なソリューションを実現し、生産性向上と業務負荷の軽減に貢献します。





サイバーセキュリティと物理的なセキュリティの両面から お客様のビジネスを支え、社会の安心・安全に貢献

多様化・巧妙化するサイバー攻撃に対応するデジタルセキュリティ。そして、災害や犯罪、事故のリスク回避に寄与する物理的なセキュリティ。私たちはこの両面の課題解決を実現するトータルセキュリティソリューションを提供することにより、お客様のビジネスを支え、社会の安心・安全に貢献します。

■幅広いサイバーセキュリティ領域をカバーし、あらゆる脅威から守る
サイバーセキュリティリスクが増加する中、私たちは、被害を未然に防ぐ
エンドポイントセキュリティ対策の「ESET PROTECTソリューション」や、
メールとWebの情報漏えい対策の「GUARDIANWALL」など、多様な
デジタルセキュリティソリューションを提供。また、最新の脅威について
分析・研究を行う「サイバーセキュリティラボ」を設置し、自社サイト「サイ
バーセキュリティ情報局」などで脅威情報やトレンドを発信しています。



■最先端技術の複合・連携により新たな安心価値を創出
キヤノンのイメージング技術とアクシスコミュニケーションズ社*のネット
ワーク映像処理技術、マイルストーンシステムズ社の映像管理基盤シス
テムとの連携により高精度な監視・見守りを実現。ハイブリッド型クラウド映
像プラットフォーム「VisualStage Pro powered by Arcules」やクラウド型
録画サービス「VisualStage Type-S」により、遠隔モニタリングが可能です。
また、AI警備システム「アジラ」は行動認識AIで事件・事故の未然防止
と迅速な対応を支援し、新たな安心価値を創出します。 *キヤノングループ



ITインフラの企画・設計・構築から運用・保守まで ワンストップで提供する「SOLTAGE」がビジネス拡大を支援

IT人材不足への対応や事業継続対策など多様化するニーズに応える
ITインフラサービス「SOLTAGE」。クラウドインテグレーション、ネット
ワーク、システム運用・保守、セキュリティ、データセンターの各サービ
スを組み合わせてご利用いただくことで、システムの運用負荷軽減と
コア業務へのリソース集中を実現します。



システム提案から保守サービスまで 多様化する商業印刷業界のニーズに対応

多品種少量印刷に対応したバリアブル印刷やオンデマンド印刷など、多様化する商業印刷業界のニーズに応えるため、高付加価値な製品・サービスを提供しています。デジタル印刷機に加え、紙以外の素材にも印刷可能な産業印刷プリンターもラインアップ。また、印刷工程を体験・検証できる「カスタマーエクスペリエンスセンター東京」を設けるなど、システム提案から保守サービスまで幅広いソリューションを提供します。



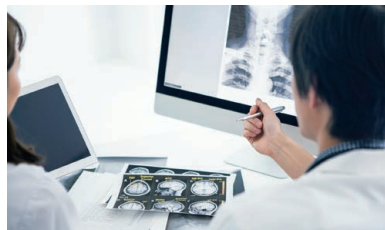
世界のパートナー企業と連携し 社会基盤を支える半導体製造の現場をサポート

スマートフォンや家電など身の回りのものから通信や交通といった社会インフラまで、暮らしに欠かせない半導体。私たちは最先端の技術を持つ世界中のパートナー企業と連携し、半導体製造装置や計測装置などの最新装置を提供。経験豊かなサポートにより、お客さまに最適なソリューションを提案しています。これからも産業と技術革新の基盤となる半導体デバイスの生産性向上に寄与し、日本のものづくりを支えます。



デジタルヘルスにより 誰もがつながる健康長寿社会の実現に貢献

電子カルテを中心とした医療情報システムを販売・導入してきた多くの経験を生かし、医療・ヘルスケア関連施設の従事者および利用者への新しい価値の創出や医療DXの推進を支援しています。また、遠隔地の医師と医療機関をつなぐ医用画像クラウドサービス「Medical Image Place」など、医療従事者を支える多彩なサービスを提供。現場のさまざまなニーズに応え、安心・安全で効率のよい医療を実現します。



専門領域に特化した ソリューションを提供し、 商業印刷、産業機器、 医療の現場を支えます。

私たちは「商業印刷」「産業機器」「ヘルスケア」といった専門性の高いフィールドにおいても、独自の強みを生かしたソリューションを提供し、社会全体に新たな価値を創造します。



For Business・For Professionalの詳細は、
Webサイトでご確認ください。

イメージング技術と 多彩な製品・サービスで 人々の感性を刺激し、 生活をより豊かで 便利にします。

一般のお客さまからプロフェッショナルまで、
多くの人々に対し、高度なイメージング技術を生かした
幅広い製品・サービスを提供することで、
生活をより豊かで便利なものに変えていきます。



For Consumerの詳細は、
Webサイトでご確認ください。

撮って、楽しんで、発信する場を提供し 写真・映像文化のさらなる発展に貢献

私たちは製品やサービスの提供にとどまらず、長年にわたるさまざまな取り組みを通じて写真・映像文化の裾野を広げ、その醸成・発展に貢献してきました。

会員制フォトコミュニティ「キヤノンフォトサークル」や写真教室「EOS学園」の展開は、その一環です。また、国内最大級の規模を誇る「キヤノンフォトコンテスト」はアマチュア写真家の登竜門として半世紀以上の歴史があります。

2023年からは新たに写真・映像作家発掘オーディション「GRAPHGATE（グラフィゲート）」をスタートさせ、未来の写真・映像文化を担う新人作家の育成・支援に、より一層力を入れて取り組んでいます。

さらに、キヤノン製品をご愛用いただいているお客さまに写真をもっと楽しんでいただくために、フォトライフに役立つ情報やコンテンツを満載した「CANON IMAGE GATEWAY」などWebサービスも充実。お客さまとキヤノンが直接対話して新しい映像の楽しみ方を共創するコミュニケーション拠点「キヤノンフォトハウス」も開設しています。

企画展や公募によりフォトグラファーの表現活動をサポートし、写真と映像の魅力を伝え続けてきた「キヤノンギャラリー」は2023年に50周年を迎えました。

私たちは撮って、楽しんで、発信する場を提供することにより、写真・映像文化のさらなる発展に貢献します。



確かな技術と充実したサービス・サポートにより 報道・ジャーナリズムの現場でお客さまの挑戦を支える

決定的瞬間を捉え、世界中に事実と感動を届ける報道・ジャーナリズムの現場で活躍するフォトグラファー。私たちは、多くのフォトグラファーが常にベストなパフォーマンスを発揮できるよう、優れた性能を備えた製品の提供に加え、きめ細かなサービスとサポートを行っています。国内外の大規模イベントでは、現地で機材メンテナンスから点検清掃、簡易修理などを実施。条件の厳しい現場で失敗が許されない撮影を支え、お客さまの信頼に応え続けています。



多彩な製品や便利なサービスにより 新たな撮影体験とアウトプットする楽しみ方を提案

私たちはこれまで培ったイメージング技術を生かし、快速・快適・高画質を実現するレンズ交換式カメラ「EOS」シリーズを提供しています。ミラーレスカメラ「EOS R」シリーズを中心に幅広いお客さまに向けてラインアップを拡充。多彩なレンズ群とともに最高の映像体験を提供しお客さまの表現を支えます。

また、「感性を刺激する写真や動画を残したい、シェアしたい」という想いに応えるため、今までにないコンセプトのカメラを提供しています。スポーツ観戦・レジャーを楽しみながら静止画や動画を簡単に撮影できるポケットサイズの望遠鏡型*カメラ「PowerShot ZOOM」や、被写体を自動で認識・追尾し、カメラ任せの撮影が可能な「PowerShot PICK」。スマートフォンで撮った写真をその場でシール紙にプリントできるミニフォトプリンター「iNSPiC」など多彩な製品により新しい映像の楽しみ方を提案しています。

また、テレワークや自宅学習が定着したことから、家庭においても快適なプリント環境のニーズが高まっています。「PIXUS」や「Gシリーズ」などのインクジェットプリンターは、キヤノンがオフィスで培ったプリントマネジメント技術を生かし、各種アプリやクラウドと連携するほか、セキュリティにも配慮。便利な機能とサービスで、仕事や学びにも、幅広く活用することができます。

*夜間や暗いシーンでの撮影、天体観測では適していないシーンがあります



撮影現場のニーズに応えるソリューションが クオリティの高い映像表現を可能にする

放送局の番組制作の現場で高精細映像を生み出しているのは、高画質と高い機動性を実現する小型・軽量のキヤノンの放送用レンズです。また映画やCMの制作者が思い描く表現を可能にする「CINEMA EOS SYSTEM」や、リモートプロダクションの要望に応えるリモートカメラシステムを提供するなど、それぞれの制作現場のニーズを的確に捉えたソリューションが高品質な映像表現を可能にします。



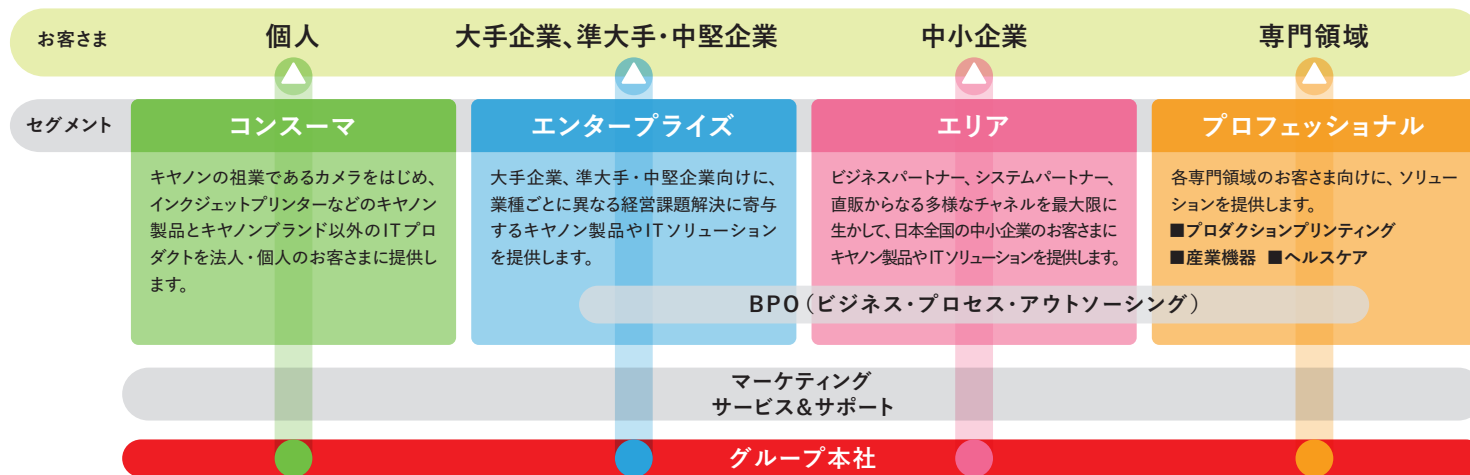
Framework

お客さまを起点とした組織体制のもと、高度化・複雑化する課題を解決していきます。

社会の変化や技術革新に伴い、お客さまの課題も高度化・複雑化しています。

このような時代において、社会やお客さまのニーズにきめ細かく応えられるよう、顧客起点の組織体制を構築。

業種・業態に合わせた最適なソリューションを提供し、暮らし・しごと・社会のあらゆる領域で幅広い価値を創造していきます。



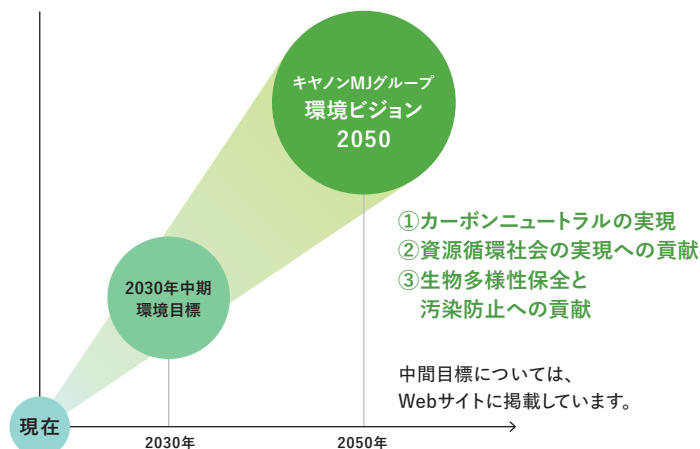
■ キヤノンマーケティングジャパングループ

2023年4月1日現在

セグメント	会社名	主な事業	
● エンタープライズ ビジネスユニット	キヤノンマーケティングジャパン株式会社	キヤノン製品および関連ソリューションの国内マーケティング	
	キヤノンITソリューションズ株式会社	SIおよびコンサルティング、ITサービス、各種ソフトウェアの開発、販売	
	スーパーストリーム株式会社	経営基盤ソリューション(会計・人事/給与)「SuperStream-NX」の企画、開発、販売	
	クオリサイトテクノロジーズ株式会社	ニアショアに特化したシステム開発、運用およびデータセンター	
	Canon Software America, Inc.	グループ企業向けの各種ビジネスアプリケーションソフトウェア、ドキュメントソリューションの開発、運用、品質管理支援	
	Canon IT Solutions (Thailand) Co., Ltd.	東南アジア事業の統括	
● エリア ビジネスユニット	Material Automation (Thailand) Co., Ltd.	ITハードウェアからソフトウェアに関わる提案、販売、サービスの提供	
	キヤノンシステムアンドサポート株式会社	キヤノン製品および関連ソリューションや他社製システム機器によるコンサルティングセールス、オフィスのネットワーク構築とサービス・サポート	
	エアンドエー株式会社	CAD・BIMツール「Vectorworks」の日本語ローカライズを含む国内独占販売および関連ソフトウェアの企画、開発、販売	
● プロフェッショナル ビジネスユニット	プロダクション プリンティング	キヤノンプロダクションプリンティングシステムズ株式会社	プロダクション印刷機器および消耗品の販売、保守サービスの提供、ワークフローシステムなどの開発、提供、印刷サービスの提供など
	ヘルスケア	キヤノンITSメディカル株式会社	医療ヘルスケア分野向けITソリューションの提供、システム開発、ネットワーク構築、ハードウェア販売
● BPOサービス	キヤノンビズアテンダ株式会社	コンサルティング、事業支援BPO、バックオフィスBPO、オフィスサポートアウトソーシング、コンタクトセンターアウトソーシング、人材派遣など、各種サービス	
	キヤノンビジネスサポート株式会社	キヤノンマーケティングジャパングループのインソーシング、BPO関連サービス	
● サービス&サポート	株式会社キュービーファイブ	人事・給与計算フルアウトソーシング、年末調整・住民税スポットアウトソーシング、チャットボットサービス、生産性向上支援サービス	
	キヤノンカスタマーサポート株式会社	キヤノン製品を中心としたお問い合わせ窓口業務、サービスセンター業務、フォトカルチャー支援業務	

2050年に向けた「キヤノンMJグループ環境ビジョン2050」および「キヤノンMJグループ2030年中期環境目標」を掲げ、「地球環境との調和」を目指した活動を行っています。

環境



ビジョンや目標への取り組みの実効性を高めるために、「気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD)」の提言への賛同を表明しています。



キヤノンMJグループは、環境配慮製品の提供、製品の回収・リサイクル活動や事業所・物流における省エネ活動などを、「ISO14001」によるグループ共通の環境マネジメントシステムの仕組みの中で、客観的な評価のもと継続的な改善に取り組んでいます。また、各種ITソリューションやサービスの提供においても環境負荷低減活動を行っています。

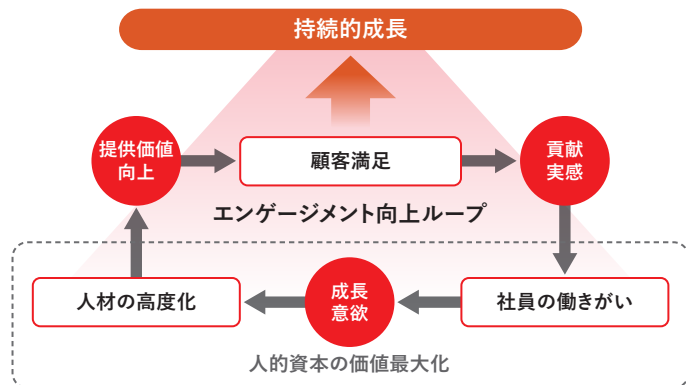
「共生」の理念のもと、持続可能な社会の実現を目指しサステナビリティ経営を推進しています。

私たちキヤノンマーケティングジャングループは、キヤノングループの企業理念「共生」のもと、すべての人類が末永く共に生き、共に働き、幸せに暮らしている社会の実現を、すべてのステークホルダーと追求しています。

サステナビリティ経営を推進し、キヤノン製品事業とITソリューション事業を組み合わせることで解決できる領域を広げ、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。

キヤノンMJグループの人材のありたい姿として、“進取の気性を発揮し、新たな価値創造で選ばれるプロフェッショナルな人材”を掲げ、人的資本の価値最大化に取り組んでいます。

人材



「個人」の自律的成長や専門性向上が「組織」を活性化させ、お客さまの満足を生み出し、それが社員の働きがい・成長意欲の向上につながることを目指しています。この一連の好循環（エンゲージメント向上ループ）をまわすことで、人的資本の価値最大化に取り組んでいます。

人材の高度化に向けては、全社横断の基礎教育に加え、部門ごとの専門教育を実施しています。2022-2025中期経営計画における事業戦略を実行していく上で、その実現性を高めていくとともに、将来にわたる持続的な成長を実現するため、特にITソリューション人材の可視化・獲得・育成に注力しています。

詳細は、Webサイトでご確認ください。
canon.jp/8060-csr



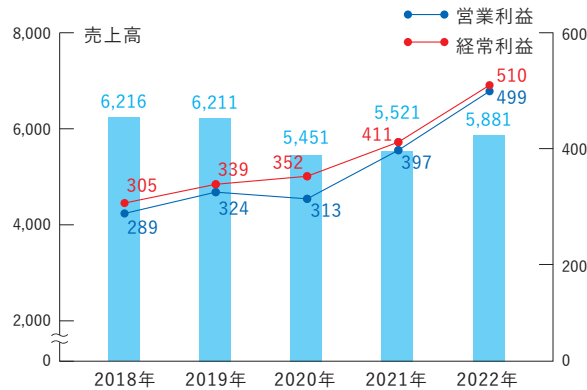
●キャノンマーケティングジャパン株式会社

Canon Marketing Japan Inc.

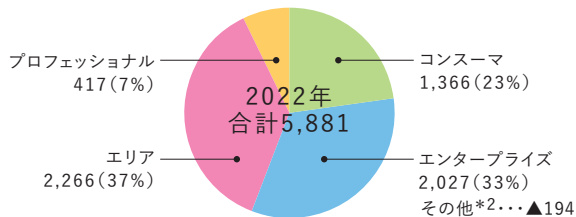
設立 1968年2月1日
 資本金 73,303百万円
 売上高 連結:588,132百万円 単独:435,150百万円
 (2022年12月期)
 従業員 連結:15,973名 単独:4,653名
 (2022年12月31日現在)
 本社 東京都港区港南2-16-6
 上場取引所 東京証券取引所プライム市場(証券コード:8060)
 事業 キャノン製品および関連ソリューションの国内マーケティング
 連結子会社数 14社

●経営データ(連結)

●キャノンマーケティングジャパングループ
 売上高/営業利益/経常利益(億円)



●キャノンマーケティングジャパングループ
 セグメント別売上高構成(億円)*1



●売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	621,591	621,134	545,060	552,085	588,132
営業利益	28,941	32,439	31,317	39,699	49,947
経常利益	30,519	33,937	35,236	41,096	50,991
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,826	22,250	21,997	29,420	35,552

※百万円未満は切り捨て

●セグメント別売上高

	2018*3	2019	2020*4	2021	2022
コンシューマ	150,244	132,790	124,874	129,471	136,612
エンタープライズ	187,717	195,828	171,237	190,594	202,730
エリア	255,910	268,309	235,766	220,826	226,560
プロフェッショナル	52,447	43,675	30,710	31,536	41,670
その他*2	▲24,729	▲19,470	▲17,528	▲20,343	▲19,443
合計	621,591	621,134	545,060	552,085	588,132

※百万円未満は切り捨て

●総資産・純資産・自己資本利益率・自己資本比率

	2018	2019	2020	2021	2022
総資産	498,790	503,698	506,604	526,418	543,740
純資産	303,570	325,092	346,114	374,676	400,372
自己資本利益率 ROE(%)	6.9	7.1	6.6	8.2	9.2
自己資本比率(%)	60.8	64.4	68.2	71.0	73.5

※百万円未満は切り捨て

●従業員数

	2018	2019	2020	2021	2022
従業員数	17,282	17,001	16,544	16,220	15,973

※各年12月31日現在

*1 各セグメントの連結売上高を合計した数字は、セグメント別売上高における「その他」の金額が含まれないため、円グラフ中央の合計額と異なります。なお、構成比率は、それぞれの単純合計額を基に算出しています。
 *2 「その他」には、セグメント間内部売上高や、シェアードサービス・BPOサービス(2018年より)などが含まれています。
 *3 2019年度にセグメント間の事業移管を実施しましたが、2018年実績はセグメント間の組み替え前の数値になっています。
 *4 2021年度にセグメント間の事業移管を実施しましたが、2020年実績はセグメント間の組み替え前の数値になっています。

●役員一覧

代表取締役社長 社長執行役員	足立 正親	エンタープライズビジネスユニット担当 プロフェッショナルビジネスユニット長
取締役 常務執行役員	溝口 稔	グループ総務・人事、グループ法務・知的財産、グループロジスティクス担当 総務・人事本部長 秘書室長
取締役 上席執行役員	蛭川 初巳	グループ企画、グループコミュニケーション、グループサービス&サポート担当 マーケティング統括部門長
取締役 上席執行役員	大里 剛	グループ監査、グループ経理、グループ調達担当 経理本部長
取締役(社外)	大澤 善雄	
取締役(社外)	長谷部 敏治	
取締役(社外)	河本 宏子	
常勤監査役	濱田 史朗	
常勤監査役	谷瀬 正俊	
常勤監査役(社外)	橋本 巖	
常勤監査役(社外)	松本 信利	
監査役(社外)	長谷川 茂男	
常務執行役員	三上 公一	コンシューマビジネスユニット長
常務執行役員	笹部 幸博	グループIT、ビジネスプロセス刷新プロジェクト担当
常務執行役員	金澤 明	キャノンITソリューションズ(株)代表取締役社長 社長執行役員
常務執行役員	平賀 剛	キャノンシステムアンドサポート(株)代表取締役社長 社長執行役員 エリアビジネスユニット 営業部長
上席執行役員	大場 康久	プロフェッショナルビジネスユニット 産業機器事業部長
上席執行役員	井本 勝也	グループITS戦略統括センター長 キャノンシステムアンドサポート(株)取締役副社長
上席執行役員	魚谷 康幸	エリアビジネスユニット長
上席執行役員	松本 裕之	エンタープライズビジネスユニット長
執行役員	常信 卓也	企画本部長
執行役員	近藤 伸也	マーケティング統括部門 ITプロダクトマーケティング部門長
執行役員	柏原 裕	マーケティング統括部門 サービス&サポート部門長
執行役員	野津 和久	コンシューマビジネスユニット コンシューマ営業統括本部長
執行役員	正井 俊広	エンタープライズビジネスユニット MA事業部長 エンタープライズビジネスユニット 担当本部長
執行役員	時枝 直章	エリアビジネスユニット ビジネスパートナー事業部 西日本ビジネスパートナー本部長 福岡支店長
執行役員	橋本 圭弘	グループコンタクトセンター担当 コンタクトセンター統括本部長 キャノンカスタマーサポート(株) 代表取締役社長
執行役員	大久保 晴彦	キャノンITソリューションズ(株) 取締役 常務執行役員

●グループ役員

エンタープライズビジネスユニット

キヤノンITソリューションズ株式会社

代表取締役社長	金澤 明
取締役	大久保 晴彦
取締役	吉田 啓
取締役	須山 寛
取締役	笹部 幸博
取締役	松本 裕之
取締役	大里 剛
常勤監査役	大庭 重生
常勤監査役	稲村 嘉光
監査役	谷瀬 正俊

【執行役員】

社長執行役員	金澤 明
常務執行役員	大久保 晴彦
常務執行役員	吉田 啓
常務執行役員	山本 明雄
常務執行役員	村松 昇
上席執行役員	須山 寛
上席執行役員	家村 元博
執行役員	横坂 一
執行役員	岩男 公秀
執行役員	谷口 肇
執行役員	湊 秀生
執行役員	中山 強
執行役員	吉田 尚弘
執行役員	松本 一弥
執行役員	山岸 弘幸

スーパーストリーム株式会社

代表取締役社長	村松 昇
取締役	木下 昭彦
取締役	岩男 公秀
取締役	横坂 一
監査役	大庭 重生

クオリサイトテクノロジーズ株式会社

代表取締役社長	小森 彦太郎
取締役	藤島 誠一
取締役	晒谷 健史
取締役	吉田 啓
取締役	片山 泰弘
監査役	大庭 重生

Canon Software America, Inc.

Director/Chairman of the Board	小川 一登
Director/President/Treasurer	松本 一弥
Vice President	元木 剛
Secretary	Seymour Liebman

Canon IT Solutions (Thailand) Co., Ltd.

Authorized Director/President	吉田 誠
Director	手塚 義隆

Material Automation (Thailand) Co., Ltd.

Authorized Director/President & CEO	吉田 誠
Director	大久保 晴彦
Director	手塚 義隆

エリアビジネスユニット

キヤノンシステムアンドサポート株式会社

代表取締役社長	平賀 剛
取締役副社長	井本 勝也
取締役	野村 敏彦
取締役	蛭川 初巳
取締役	魚谷 康幸
常勤監査役	田沼 純一
常勤監査役	池田 俊明
監査役	濱田 史朗

【執行役員】

社長執行役員	平賀 剛
常務執行役員	山方 直記
常務執行役員	田中 諭
上席執行役員	清原 紀男
上席執行役員	野村 敏彦
執行役員	森 大吾
執行役員	脇田 雅仁
執行役員	川畑 博
執行役員	柏木 久一
執行役員	藤田 浩一
執行役員	河原 勝己

エーアンドエー株式会社

代表取締役社長	横田 貴史
取締役	本間 盛晃
取締役	藤島 久恭
監査役	白根 昭宏

プロフェッショナルビジネスユニット

キヤノンプロダクション
プリンティングシステムズ株式会社

代表取締役社長	上田 克己
取締役	小島 康晴
取締役	宮前 光男
常勤監査役	吉住 孝信
監査役	大里 剛

【執行役員】

社長執行役員	上田 克己
常務執行役員	小島 康晴
執行役員	横山 啓之
執行役員	寺坂 俊諭

キヤノンITSメディカル株式会社

代表取締役社長	黒井 慶信
取締役	鷲足 猛志
取締役	中村 智生
取締役	青木 秀雄
取締役	鈴木 一光
取締役	常信 卓也
監査役	小野 隆司

BPOサービス

キヤノンビズアテンダ株式会社

代表取締役社長	杉中 美勝
取締役	渡邊 雄史
取締役	若林 秀隆
取締役	中山 強
取締役	須永 義彦
監査役	白根 昭宏

キヤノンビジネスサポート株式会社

代表取締役社長	木成 義隆
取締役	内藤 照行
取締役	三之宮 信裕
取締役	溝口 稔
取締役	浅野 潤二
監査役	白根 昭宏

株式会社キュービーファイブ

代表取締役社長	浅野 潤二
専務取締役	岡田 正明
取締役	佐藤 一誠
取締役	常信 卓也
監査役	小野 隆司

サービス&サポート

キヤノンカスタマーサポート株式会社

代表取締役社長	橋本 圭弘
取締役	高橋 真一
取締役	柏原 裕
取締役	吉田 雅彦
監査役	小野 隆司



Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON STOWER

本誌の内容は、下記URLからもご覧いただけます。

キヤノンマーケティングジャパングループ
企業情報ページ

canon.jp/8060

